



LPA 小山 明子

源泉徴収票は、毎年確認しましょう

平成31年から令和元年になった今年も残りわずかになりましたね。この時期サラリーマンの方は、職場に年末調整の書類(扶養家族を記入したり、生命保険等の控除証明など)を提出しているのではないのでしょうか?個人の所得税は、1月1日〜12月31日までの1年間で算出します。年末調整とは、12月の給与支給後に会社(雇用主)が月々の給与から引いていた見込み税額を清算するものです。翌年早々に「給与所得の源泉徴収票」が渡されます。皆さん源泉徴収票の内容を毎年、確認していますか?

源泉徴収票の内容を簡単に説明すると

お手元の票と見比べてみてください

- **支払金額**  
非課税の通勤手当を除いた年間支給額
- **給与所得控除後の金額**  
支払金額から必要経費に代わる給与所得控除額(給与所得額により一定の計算式があります)を引いた金額
- **所得控除の金額の合計額**  
自身の基礎控除、配偶者や扶養家族の控除、社会保険料、保険料などの合計額
- **扶養家族(満16歳以上)の控除は大学生年代(19歳〜23歳未満)の子や老人は割増の控除があります**

源泉徴収税額

(給与所得控除後の金額) × 税率  
(所得控除の金額の合計額) × 税率  
税率は金額により計算式があります。平成25年から25年間、復興特別税が加算されます。住宅借入金等特別控除は税額から控除されます。これとは別に、住民税は毎月の給与で源泉とは別に引かれています。

確定申告を利用しましょう

年末調整後、忘れていた事項(例:扶養している子の国民年金保険料の控除など)がある場合、確定申告すると税金が還付されます。また、年内に離職し再就職していない方は、手元に「源泉徴収票」が届いても年末調整されていないので確定申告により税金が還付される可能性が高いです。

源泉徴収票は、今回書いた項目以外にも色々と書かれており、分りにくい点も沢山あるかと思えます。LP Aの会では学習会を行っています。ご自身・ご家族の税金について学習してみませんか?

お問い合わせ

コープぎふ LP Aの会事務局  
TEL 058-370-6713  
月〜金曜日 9時〜17時(土日休み)



LPAの会 ホームページ

2019年度 第5回 理事会だより (10/9)

飛騨市、土岐市、白川村より見守り協定、川辺町より災害時協定の締結の依頼があり対応をすすめています。

① 9月期決算について承認しました。

単位:百万円

9月度事業結果	9月実績	予算差	累計実績	予算差
商品の供給高	2,139	-70	12,464	-361
総事業高	2,213	-72	12,896	-366
事業経費	495	-22	3,006	-72
経常剰余金	28	9	72	13
当期剰余金	22	9	53	13

組合員数 244,034名 計画比99.8%(加入834名)  
出資金 42億5,903万円 一人当り出資金 17,453円

② 2019年度首長訪問の報告がありました。

理事長・組合員理事・支所長(副支所長)の首長訪問終了の報告がありました。第21回通常総代会終了後、県内33行政(20市11町3村)へ6月28日〜10月3日の期間に訪問しました。

③ 第21期総代選出についての報告がありました。

第21期総代の立候補及び推薦の受付を9月9日〜9月30日の期間で行いました。総代総定数500名に対して、各選挙区とも定数の立候補(および推薦)者となりました。総代の任期は2019年10月10日から2020年10月中旬(第22期総代公告日)までとなります。総代のみならず、総代会議や通常総代会で活動や事業への意見や質問をお聞かせいただき、これからのコープぎふの事業に生かします。

各地区の総代数

飛騨	31	各務原	33
益田	14	岐阜南	63
恵那中津	48	岐阜西	98
多治見	122	西濃	54
中濃	37	合計	500

Health

今月の先生紹介

くろかわ まさえい  
黒川 昌栄 氏

本巢市  
本巢内科クリニック院長

もし私が女であつたらどんなふうな病気に向かい合うのだろう。とても興味深くも想像をするに難しい問題である。例えば一般的な内科診療において、子供とは違い性差はかなり意識せねばならないし、当然性特有の病気も多い。こんな時やはり自分が女であつたら、女性特有の疾病については、ある程度患者サイドの気持ちも理解しやすいように思う。

健康講座

教えて先生!

女であるといふこと

今月のテーマ

私が40歳を超えてきたらまずどんな病気を心配するのであろう。今まで健康であり病気に縁がなく自分の身体について深く関心を持ったことはないと言ふ人も多いと思う。しかし、そんな人が最近なんとなく体のだるさを感じ、のぼせ、冷や汗が出る。やはり更年期かなと多くの人は考えるのだろう。人によっては医療機関を受診したり、またある人は自分でこの危機を乗り切るかも知れない。辛いけれども命に関わる病気じゃないと自分に言い聞かせて。

でも当然これだけで済むはずもなく、ふと新聞などで40代が乳がんの好発時期と知ってしまう。それで胸にシコリでもあればとても心配になる。また悩む。これは命に関わる病気でもあるし医療機関受診となつたり、年一回の検診は受けようとしたりする。なかなか厄介じゃないか? こう考えてくるとやはり女の人生の方がはるかに生物としてのダイナミズムで駆動されてると思うし、その分悩みも多

いなと嘆息する。そしてその女性の体の殆どの機能をコントロールしているのがエストロゲンと言うホルモンだ。このホルモンは生物としての女性を保つためには必要不可欠なホルモンで、このホルモンの多寡が多くの女性の病気と関連していることは昔からよく知られている。

そんな中50代も過ぎ去る頃、新たに問題となる病気が発生する。殆どの女性がこの病気からは逃れることはできない病気、それが閉経後骨粗鬆症である。生理も終わりに卵巣からのエストロゲン生産量が劇的に低下する中、骨も急速に弱くなっていく。これを単なる運動やカルシウム摂取の増量のみで補うのはなかなか難しいと思う。少し考えてみる。若い頃子どもを産んだ時は、胎児に30g程のカルシウムを与えなおかつ自分自身の骨も丈夫のままとても不思議。何で?

答えはエストロゲンのおかげ。やはりこのホルモンが減少すれば骨も脆くなるかと納得。じゃ、どうすればいいの? 最近バイオ製剤と呼ばれる高価な注射も出てきて効果もかなりいいけどやっぱりお金そんなにかけられないよね。テクノロジーが進歩してほんの20年前には考えられないようなことも可能になった現代においても無理なことは無理。

的に作られるものではないからだ。骨は壊されなければ作られないと言う臓器としては特殊な側面を持ち破壊と創造という二面性をその中に内包しているからである。先ほども述べたように運動やカルシウム摂取増加だけでは予防するのは困難な場合も多いかと思う。早めに自分にあつた、そして自分の好きな薬を見つけることが肝心かと。骨が脆くなれば骨折のみならず付随する症状が出てくる。一番多いのが腰痛だったり手足の痺れだったりして何となく生活が楽しくなくなつたりしてしまう。どんな病気もそうだが症状が出てからは遅いことも多い。50歳を越えたら骨の予防。

他の疾病以上に重要な啓示。



今年も年賀状の準備をする時期になりました。LINEで済ませてしまう友だちもいるのですが、それは少し寂しく感じます。やっぱり年賀状を出そうと思ってます。| 瑞浪市 ごろんちゃんさん |

生協で干しネットを購入しました。干しいも、干しいいたけ、干しかぼちゃ、鮎の一夜干しなどを作りました。楽しいです。| 高山市 まだまださん |